発行:令和 2 年 9 月 15 日

会 議 議 事 録

会議名	令和2年度第1回 東京工科自動車大学校三校 教育課程編成委員会		専門学校 東京工科自動車大学校 専門学校 東京工科自動車大学校世田谷校 専門学校 東京工科自動車大学校品川校
開催日時	2020年9月3日 (木) 15:00 ～ 17:00		
会場	東京テクニカルカレッジ 11階教室		
参 加 者	委員	18名	【出席者17名】 ◇1 級教育課程分科会 ・佐藤 康夫 (全体会議長、1 級分科会議長) ・佐々木 章{新任} ・伏見 一洋{新任} ・宮谷 真樹 ・増田 智秀 ・園田 幸祐 ・淺井 恵一 ・井上 真一 (書記) ◇2 級教育課程分科会 ・松村 道隆 (2 級分科会議長) ・武井 和則 ・国分 秀貴 ・油井 文江 ・永野 英臣 ・清 宏一郎 ・坂本 康将{新任} ・高橋 輝彦 ・開田 実 (書記) 【欠席者1名】 ・酒井 彦樹
	事務局	1名	澁谷 健 (全体会書記)
全体会 配布資料	―――――――――――――― 全体会 ―――――――――――――― 〈配布資料〉 ・議事次第 ・資料A・・・全体会説明資料 (パワーポイント) ・資料B・・・令和元年度自己評価結果・学校関係者委員評価書 ・資料C・・・委員名簿 ・資料D・・・前回議事録		
報告事項	**1. 委員長挨拶** 委員長より挨拶として下記の説明・報告がなされた ・職業実践専門課程関連報告 →職業実践専門課程、自己評価報告及び学校関係者評価の概要説明(資料 A・B) ・教育成果等実績の報告(資料A) →就職・整備士資格・学生募集数値の説明 ・コロナ禍を受けての今年度教育活動について →本年度6月1日より授業開始、夏休みの短縮、学園祭等行事の中止で遅れを吸収 **2. 委員の紹介** ・事務局より新任委員の紹介を行なった(資料C)		

協議事項	**３．議事** **３－１．前回議事録の確認** ・事務局より令和元年度第２回教育課程編成委員会の議事録（資料D）について、改めてその概要についての確認がなされた。 **３－２分科会 議長・書記の選出 出席者の確認** 事務局提案により ・1級課程分科会　議長：佐藤委員長、 書記：井上委員 ・2級課程分科会　議長：松村委員、 書記：開田委員 →全員一致で承認 以上をもって、全体会を散会とし、分科会に移行した
	―――――――――――― 1級教育課程分科会 ――――――――――――
1級分科会 配付資料	配付資料 ● R3年度科目配置(案) 中野校　1級自動車整備科　3年　4年
報告事項	**１．令和元年度1級分科会審議事項の振り返り** 議長より令和元年度の教員研修実施内容についての報告がなされた。 昨年は新技術をテーマに審議をしてきた。→教員向け新技術研修を実施した。 教育課程のカリキュラム編成は、本来ならば学科ごとだが、自動車系については、学科は異なっても、出口は同じ→合同で実施するが、1級と2級の分科会は分けている。 今年度の分科会テーマは「これからの整備士教育に必要な新たな取組(特定整備その他について)」の議事について取り組みとの説明が議長よりなされた。
協議事項	**２．これからの整備士教育に必要な新たな取組(特定整備その他)についての意見交換** ・議長より本議題の趣旨の説明がなされ、昨年の教育課程編成委員会の意見を基に、中野校1級自動車整備科に特定整備のカリキュラムを取り入れる準備をしているとの説明。 ・園田委員より配布資料を基に1級自動車整備科3，4年「特定整備カリキュラム計画」の説明を行った。 科目配置変更案の説明→カリキュラム改変の理由は、「特定整備」については、1級整備士を取得すると、主任者になれるメリットがある。そのためカリキュラムに落とし込み、電子制御関係に力を入れる。カリキュラム変更にあたり削減する科目「CAD」{情報リテラシ}「英語」「起業法入門」の説明を行い、新規にて取り入れる科目の「車両制御技術基礎」「車両整備の応用実習」「特定整備検査」「車両整備の電子制御研究」合計4科目のシラバス、人材目標の説明を行った。 ・佐々木副議長より補足説明、2024年10月に特定整備スタートニュースリリースがあり、教科書がない中ではあるが、中野校がモデルケースになり実施し、その成果を活かし世田谷、品川校1級課程のカリキュラムに反映する計画、また中野校は特定整備事業の認証を取得する。→先進技術は卒業生に欠かせない内容であることから、将来1級整備士教科書に記載される可能性が高いことから取り入れる準備をしている。現在はシラバス、サブテキストの開発を進めている。 各委員よりの意見 →(学外委員)会社として特定整備は来年度以降を予定している。現実は、業務として発生していることから、年次の高い整備士に任せている。車種ごとのエーミングが問題になっている。日産はメーカーより情報はもらっているが、作業は慎重に行っている。学校での取り組みは、ベースの考え方の学習で十分である。 →(園田委員)エーミングの重要性の説明を主に置き、特定整備の説明をし、まずは1車種にて実施し、特定整備の入口を理解する方向で考えている。実際1回実施し、概念を理解させる。

	→（学外委員）車種毎に異なる検査方法については、入社後に教育していくのがベストと考えている。 →(議長)1級の試験には出題されないが、カリキュラム改編には企業の意見が必要、特定整備はカリキュラムに必要か？ →(学外委員)一同今後のカリキュラムに必要であり、取り組みに賛成する。 →(学外委員)自動車の整備はなくならない。3Kを変えなければならない。メンテナンスは必要であり、安定した職種である。当社は「エアコン全工場完備」3Kではない。エーミングは、特定車種を覚える意味はない。基礎を教えることが重要である。「メンテナンスは危険に気が付く事」が大事。これば人間しかわからない。そのため整備士は必要であり、魅力が必要ではあるが、安定した職種と言える。メンテナンス中心になり、トラブルシュート等の業務はなくなるため課題はある。 →(園田委員)企業の皆様には協力が必要であり、場所や機器の提供をお願いしたい。また、研修プログラムの実施もして頂きたい。 →(学外委員)協力はしたいが、内容による。センサー以外にも沢山あるので、どこまで教えるのか、レベルはどうするのか、学校との要望と合致するのか。すり合わせが必要である。 →(学外委員)まずは、教員への説明が必要であり、その後学生への展開をする必要がある。 →(学外委員)年間プログラムで動いているので、事前に打ち合わせが必要。試乗も必要ならばシミュレータである「自動ブレーキ体感キット」があるので調整次第で使用は可能である。 →(議長)学校としてのカリキュラム改変は、企業の皆様への協力が必要であり、企業に相談しなければならない事項があるので、今後とも協力をお願いする。 次回は今後進められる改変作業の進捗報告を中心とする。 ➢ 議長より　次回の分科会は、11/20(金)に実施する旨を確認し、以上をもって閉会とした。
2級分科会 配付資料	―――――――――――――― 2級教育課程分科会 ――――――――――――――
	<配布資料> ・「新型コロナに対する東京工科自動車大学校3校取組等の取組」
協議事項	<議事> **1．前回議事確認** 議長より、前回議事の説明とその結果に対しての確認がなされた。 ・前回は必要資格についての議論が行われ、その結果以下の2点を本年度より実施することとした。 ①ソーシャル検定（ビジネス）1年時より2年時に変更 ②ガス溶接の資格は必須科目から選択科目への移行 **2．東京工科自動車大学校3校の感染防止に関する取組等の報告** 配布資料をもとに、議長より報告 ①自粛期間中の休校 ・4月より休校し、6月1日からの授業スタート ＊訓練時間1800時間は変更ないため、学生への課題が必要 1）各科学年別課題発送と回収、1部オンライン授業の実施 2）教職員も基本在宅勤務にて授業資料作成

	②6月授業開始に向けた準備 ・時間割・非常勤講師の再構築、年間行事の中止および見直し等 ③授業開始後の対応 ・検温、消毒、換気、3密対策等を資料の通り実施 ④授業開始後の問題点 ・2か月遅れスタートに対する訓練時間数不足への対応 →長期休暇の大幅縮小 ・日本に入国できない留学生→休学処置 ⑤今後の取組 ・感染対策の継続、クラスター発生時の対応、リモート授業、土曜日曜の休日授業検討 **3．各企業等の取り組み事例** ・一部の事業所で感染者が発生した。その際の教訓で濃厚接触者は、食事中のリスクが高いことがわかった。現在では昼食の時間帯を分散して対処している。 → 学校では、現在食堂（学生ホール）を使用しているのは一部で、学科教室などに分散し、リスク回避している。 ・他の委員の各事業所（店舗）でも感染者が発生している。 対応：1日の閉店、消毒を施し3日間閉店等さまざまである。 → 感染リスクが高いのは 食事、喫煙。（保健所情報） ⇒ 学校としても飛沫感染(マスクを外す)がある場所は、要注意とする。 ・企業として、マイカー通勤を他メーカー車両であっても許可している。 ・大学では、オンライン授業が中心。授業時間の件は国交省基準であっても学校として組織的に緩和処置を申告するべき。 →JAMCAを通して、行っている。 →例年の学生は卒業可能だが、本年度は不可な学生をつくるべきではない。教育機関は、学生ファーストで考えなければなければいけない。そのほうが学校は評価される 東京工科の姿勢を見せるべき。そのほうが、評価される学校となる ⇒以上の参考となる内容が確認された。 **4．他・学校への要望等** ・早期離職が問題 →コロナ禍で研修が不足し接触の機会が少なくなっているため、働く意義が伝わらなくなっている。学校でも伝えてほしい。 →過去健康状態（躁鬱等）、怪我の後遺症等により早期離職となる事があった。学校で把握し情報を伝えてほしい。 →1年早期（夏休み、冬休みでも）に職場見学の活動を進めてほい。 →早期退職者（新卒、中途）を減らしたい。 ・留学生の運転免許取得問題 →入社時までには、確実に取得させてほしい。 ⇒ 次回は、早期退職と留学生問題を検討課題としたい。 以上の内容で散会とした。

会議風景	―――――――――――― 会議風景 ―――――――――――― 【全体会】 【1級課程分科会】 【2級課程分科会】
事務局より 次回日程	令和2年11月20日(金) 15:00～17:00

以上